



香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



トルコキキョウの栽培ハウス（三豊市）

目 次

1. 香川県議会へ農業農村整備事業の推進を要望2
2. 平成 26 年度第 1 回監事会開催2
3. 第 159 回理事会開催3
4. 低コスト型農業集落排水施設更新支援事業の概要について4~5
5. 土地改良区だより 三豊市山本町土地改良区6
6. 平成 26 年度「ため池のある風景」写真コンテスト作品募集7
7. 人事異動／会と催し8

香川県議会へ 農業農村整備事業の推進を要望

去る 8 月 7 日、本会の大山会長、組橋副会長など役員 4 名が会員を代表して香川県議会を訪れ、農業農村整備事業の計画的な推進のため、県予算の確保等について要望した。



県議会では、宮本議長、黒島副議長、花崎経済常任委員長、鎌田自由民主党議員会長、辻村同幹事長、斉藤同政務調査会長に対して、平成 27 年度農業農村整備事業予算の確保をはじめ、地域の共同活動や農業生産活動の継続等を支援する「日本型直接支払制度」の積極的な推進、老朽ため池の整備や耐震点検調査、耐震化整備など、総合的なため池の防災対策の推進等について要望を行った。

平成 26 年度 第 1 回監事会開催

本会の平成 26 年度第 1 回監事会が、7 月 31 日午前 10 時から香川用水記念会館 5 階で開催された。

監事会は、大山会長の挨拶の後、森川代表監事が議長となり、平成 25 年度決算監査及び平成 26 年度中間監査に関する実施計画、平成 25 年度事業報告及び一般会計・特別会計収支決算並びに財産目録の承認について、平成 26 年度予算執行状況報告、平成 26 年度一般会計収支補正予算について審議が行われ、いずれも監事全員の賛成を得て承認された。



その後、平成 25 年度決算監査、平成 26 年度中間監査が行われ、事業運営、業務計画及び執行状況、会計処理等については正確かつ適正に処理されているが、法令遵守体制等の改善の指導があった。なお、監査結果は、定款第 22 条第 1 項に基づき、同日付けで報告書を作成し、理事会及び総会に報告することとなった。



第 159 回 理事会 開催

去る 8 月 8 日、第 159 回理事会が香川県社会福祉総合センターにおいて、来賓として県から松尾農政水産部長、飯間農政水産部次長、小山農村整備課長の出席のもと、開催された。



冒頭、大山会長から、新しく理事に就任された坂出市松山土地改良区の東山理事長と監事に就任された高松市多肥土地改良区の藤澤理事長の紹介があった。また、7 月 28 日に中国四国土地改良事業団体連合会協議会による、自民党本部及び農林水産省並びに県選出国會議員への平成 27 年度農業農村整備事業の予算確保と、ため池の防災減災事業の

拡充及び定額補助の延長、農業水利施設保全合理化事業の継続、多面的機能支払制度の制度拡充、小水力等再生可能エネルギー導入の促進、土地改良区等への電子化システム導入の支援制度の拡充など事業制度等に関する提案活動への参加、7 月 29 日に県知事及び関係部局、さらに 8 月 7 日には県議會議長等への要望活動が報告された。また、香川県農業の発展のため、これまで以上に役職員が一致団結して取り組んでまいりたいので、ご協力をお願いしたいと挨拶があった。

続いて、松尾農政水産部長から南海トラフ地震による被害が想定されるため池について、老朽ため池整備促進第 10 次 5 か年計画に基づく老朽ため池の整備、耐震化整備、中小ため池の防災対策を 3 つの柱として取り組むなど、総合的な防災減災対策事業を重点的に推進するとともに、農地中間管理機構として指定した香川県農地機構を活用して、基盤整備と併せて農地集積による経営規模拡大を推進するなど、きめ細やかな対応を進めてまいりたい。更には、日本型直接支払制度が創設され、農地・水保全管理支払制度は多面的機能支払制度として拡充され、県内でも取組組織は増加しているが、事務負担の軽減を図るとともに、市町または土地改良区管内など広域的に取り組むためにも、土地改良事業団体連合会の協力について要請があった。最後に、香川県土地改良事業団体連合会をはじめ、関係団体と連携し、地域の実情を踏まえた農業農村整備事業を積極的に推進してまいりたいので、一層のご支援、ご協力をお願いしたいと挨拶があった。

引き続き、大山会長が議長となり、平成 25 年度事業報告及び一般会計・特別会計収支決算並びに財産目録の承認など、次の 3 議案が審議され、いずれも原案どおり承認され閉会した。

第 159 回 理事会 議案

第 1 号議案 平成 25 年度 事業報告及び一般会計・特別会計収支決算並びに財産目録の承認について

第 2 号議案 平成 26 年度 一般会計・特別会計収支補正予算について

第 3 号議案 香川県土地改良事業団体連合会換地等強化事業推進委員会設置規程の一部改正について

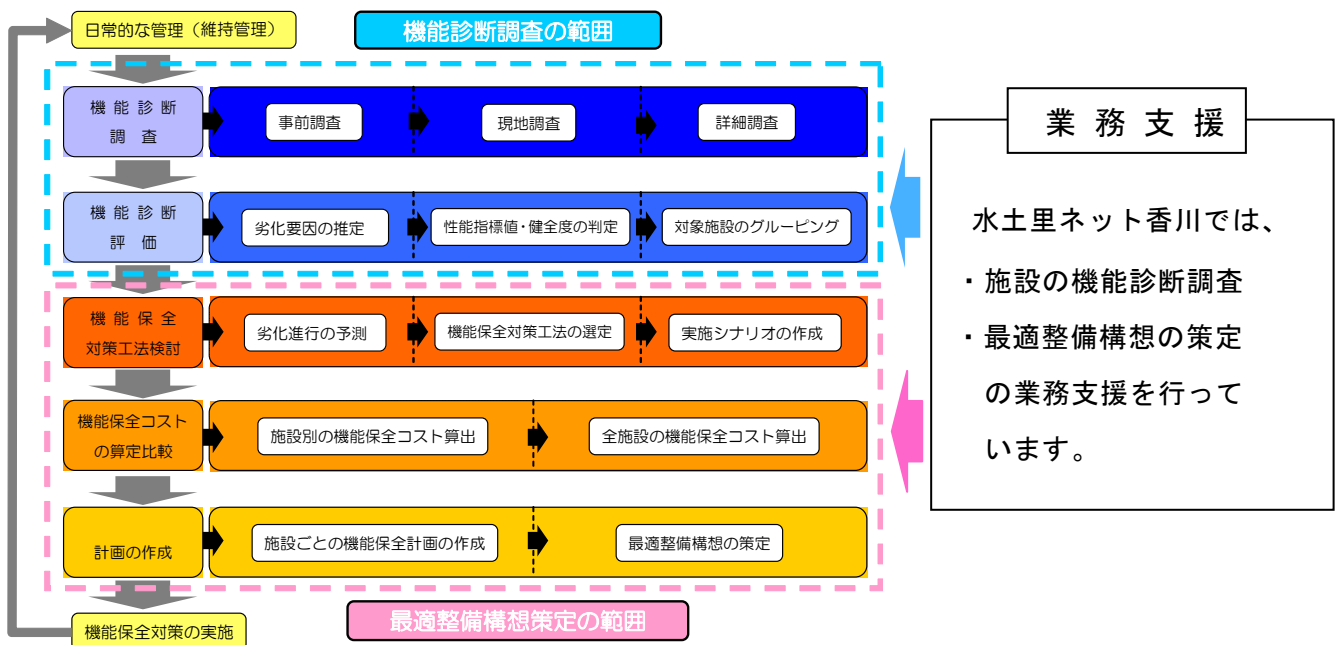
低コスト型農業集落排水施設更新支援事業の概要について

□ 農業集落排水施設の機能診断調査を行い、施設の現状をしっかりと把握しましょう。

供用開始後、10年を経過した農業集落排水施設については、機能診断を行い、傷み具合を把握することが、今後の維持管理費の節減や計画的な施設の補修・改築などを進める上での第一歩です。

機能診断調査を適切に実施するため、「農業集落排水施設におけるストックマネジメントの手引き(案)」が作成され、これに併せて農業集落排水施設におけるストックマネジメントを実践するための「機能診断調査要領(案)」、「機能診断調査票様式(案)」及び「最適整備構想作成要領(案)」についても整備されています。

○農業集落排水施設ストックマネジメントの流れ



□ 機能診断結果を踏まえて、今後の施設の補修・改築などを低コストで計画的に取り組むための最適整備構想(市町のマスタープラン)も策定しましょう。

機能診断調査の結果から、対策工法と対策時期を検討し、複数の処理区がある場合には、市町内の施設全体について、市町の財政状況を踏まえ、今後の施設の補修・改築などを計画的かつ効率的に取り組んでいくための『最適整備構想(マスタープラン)』の策定をお勧めします。

その際、隣接する複数の処理区の統廃合や隣接する未整備地域の既存処理区への取り組みについても検討することができます。

□ 機能診断調査は、1 処理区当たり上限 200 万円、最適整備構想策定は、1 市町(構想)当たり上限 800 万円まで国から補助を受けることが可能です。

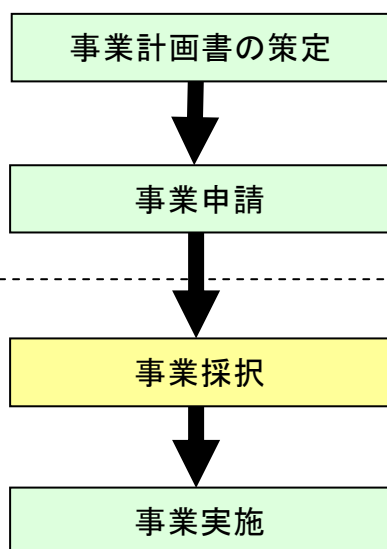
機能診断調査及び最適整備構想の策定には、国の定額補助を受けることができます。供用開始後、10 年を経過している農業集落排水施設を管理する市町においては、是非、適切な補修・改築や維持管理のため交付金活用の検討をお勧めします。

○機能診断調査及び最適整備構想策定の補助内容

区 分	補 助 額	備 考
機能診断調査	定額 1 処理区当たり 上限 200 万円	<ul style="list-style-type: none"> ・機能診断調査は、最適整備構想策定とセットが基本 ・1 市町 1 処理区でも実施可能 ・1 構想当たりの助成額の上限 800 万円
最適整備構想策定	定額 1 市町(構想)当たり 処理区数 × 100 万円 + 200 万円	

機能診断調査等を実施するためには、事業主体である市町は機能診断調査等の事業計画書を策定のうえ、県に申請し、県から事業採択を受ける必要があります。このため、事業実施の前年の早い時期に県と協議されることをお勧めします。

○機能診断調査及び最適整備構想策定のための事務手続き



国が示す様式に従い、市町が事業計画書を策定する必要があります。なお、事業計画書は特に複雑なものではありません。調査対象地区や対象施設の概要、事業費等を記入し、計画図面を添付するものです。

市町が策定した事業計画書を添付して、県に事業実施の申請を行います。この申請は、事業実施の前年度までに行う必要がありますので、時期や様式等については県及び本会にお問い合わせください。

県は、事業実施が適当と認めた場合、事業計画書を添付し、国に事業実施計画報告書を提出します。

事業計画に従って、市町が機能診断調査や最適整備構想の策定を行い、県に対して必要な報告を行います。

集落排水施設に関するお問い合わせは、水土里ネット香川へお気軽に。

～土地改良区だより～

三豊市山本町土地改良区（三豊市）

三豊郡山本町土地改良区は、辻、河内、財田大野、神田の旧村単位で設立されていた 4 土地改良区が合併し、昭和 34 年 4 月に設立された。その後、平成 18 年の三豊市の発足に伴い、三豊郡から三豊市へと改称し現在に至っている。当土地改良区の管内は、三豊市山本町全域及び同市豊中町及び財田町、観音寺市中田井町、原町のそれぞれ一部である。

管内は、県内の他地域と同様に降雨に恵まれないことから、しばしば干ばつ被害を受けてきた。このため、先人は数多くのため池を築造し、農業用水の

安定確保に努めてきた。さらに、逆瀬池を増築し、この水を河内川に放流後、井出口井堰から小原池や仁池まで用水路を整備して辻、豊田村の干ばつ被害を防止する中部用水土地改良事業が計画された。この事業は、昭和 17 年に県営事業として着工したが太平洋戦争のために工事は中断し、昭和 23 年になって工事が再開され、着工 14 年目の昭和 30 年 8 月に完成し、辻、豊田両地区の水不足は解消された。

また、昭和 50 年には香川用水が本格通水し、河内地区をはじめ、辻地区や神田地区にかんがい施設が整備され、抜本的に水不足が解消されたことから、当土地改良区管内では、現在、水稻を中心に、採種用作物や施設園芸の栽培が行なわれている。特に採種用玉ねぎは全国有数の主産地が形成されるとともに、苺、胡瓜を中心とする施設園芸が活発に展開されている。

一方、農地の整備については、当土地改良区が実施主体として団体営土地改良総合整備事業(区画整理型)で辻地区をはじめ、南岡地区や上・中河内地区など、中山間地域を中心に整備するとともに、県営畑地帯総合土地改良事業で農地造成 72ha、畑地かんがい事業 69ha、また、広域営農団地農道整備事業をはじめ、農免農道事業を活用して農業生産団地の基幹農道が整備されるなど、農業の近代化を図るため、積極的に農業生産基盤の整備に取り組まれてきた。

また、管内には、近年の慢性的な渇水状態の緩和対策や大地震などの不測の事態に対処するため、香川用水のうち、水道用水を一時的に貯留しておき、渇水時の補給や緊急時に活用する宝山湖が平成 21 年 3 月に完成している。

農業を取り巻く環境が一段と厳しくなった現在においても、大橋理事長をはじめ、土地改良区役員が一丸となり、農業用水の適切な配水管理や農業用施設の保全管理などを通して、地域農業のさらなる発展を目指して計画的に業務に取り組んでいる。



辻地区ほ場整備



大橋良男理事長

土地改良区の概要

所在地	三豊市山本町辻 333 番地 1
設立年月日等	昭和 34 年 4 月 6 日 香川県第 245 号
関係市町	三豊市、観音寺市
管内農地面積	1,115ha (田 551ha 畑 564ha)
組合員数	1,578 人(総代 40 名)
役員数	理事 9 人 監事 4 人

平成 26 年度「ため池のある風景」写真コンテスト作品募集

1. 題材

農業用ため池（農業用水として貯留水の一部が現に使用されているため池。ただし、いわゆるダムと称されているものは除く）、農業用ため池を含めた農村の風景、ため池と棚田、ため池を管理する農家、ため池の四季など、自由。

2. 応募サイズ

四つ切り又は四つ切りワイド（その他サイズは審査できません。）

3. 応募方法

●カラー、モノクロ自由。●合成写真不可。●未発表作品に限ります。●過去にコンテスト等で入賞・入選された作品や現在コンテスト等に応募し、まだ結果が判明していない作品も応募できません。●所定の応募票を必ず作品の裏に貼付のこと。応募票のない作品、応募票に所定の記載事項が明記されていない作品は審査できません。

4. 入賞作品の著作権

●応募作品の著作権は撮影者に帰属します。●全国水土里ネットは入賞作品を無償で使用する権利を有します。●入賞作品は主に次の目的で使用します。【発表パンフレットへの掲載、入賞作品表彰式（展示会）、出版物への使用。関係機関の広報宣伝物への掲載（新聞・定期刊行物、ポスターなどの印刷物、ホームページなどのwebコンテンツとしての二次利用）など。】

5. 作品返却

●入選作品の返却はできません。●返却希望の選外作品は 4 月中旬以降に返却を予定しています。返却を希望する方は、作品に「返却希望」と明記の上、返信用封筒・切手を同封してください。切手が未同封・不足している場合は、当会指定の方法により着払いにて返却いたします。

6. 発表

平成 27 年 3 月頃、全国水土里ネットホームページ「新・田舎人フォーラム」で発表します。なお、入賞者には別途通知します。

7. 送付先

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2 丁目 7 番 4 号 砂防会館別館 4 階
全国水土里ネット内「ため池のある風景写真コンテスト」係

平成 25 年度最優秀作品／「田ならし」山田 宏作（鹿児島県霧島市）



応募締切

平成26年12月31日(水)
(消印有効)

問い合わせ先：水土里ネット香川 事業課 ☎ 087-822-0303

人 事 異 動

【中国四国農政局】

(8月1日付)

新	旧	氏 名
大臣官房審議官（国際）	中国四国農政局長	田野井 雅 彦
中国四国農政局長	国土交通省北海道開発局農業水産部長	仲 家 修 一

【中国四国農政局香川用水土器川沿岸農業水利事業所】

(8月1日付)

新	旧	氏 名
香川用水土器川沿岸農業水利事業所香川用水二期農業水利事業建設所長	香川用水土器川沿岸農業水利事業所付	山 形 幸
香川用水土器川沿岸農業水利事業所香川用水二期農業水利事業建設所工事課長	四国土地改良調査管理事務所調査計画専門官	安 永 功
香川用水土器川沿岸農業水利事業所香川用水二期農業水利事業建設所工事課庶務係長	香川用水土器川沿岸農業水利事業所庶務課付	金 子 慶 次
香川用水土器川沿岸農業水利事業所香川用水二期農業水利事業建設所工事課用地補償係長	斐伊川沿岸農業水利事業所用地課補償係長	經 種 誠 司
香川用水土器川沿岸農業水利事業所香川用水二期農業水利事業建設所工事課設計係長	香川用水土器川沿岸農業水利事業所調査設計課調査係長	木 原 大 志
香川用水土器川沿岸農業水利事業所香川用水二期農業水利事業建設所工事課工事係長	中国四国農政局農村計画部事業計画課農村整備係長	千 屋 正 仁

会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
8月12日	多面的機能支払交付金等担当者会議	岡山市
18日	小豆郡土地改良事業推進協議会研修会	小豆島町
22日	香川県農業会議第6回臨時総会	高松市
〃	香川県農業会議常任会議員会議	高松市
25日	管内各県耕地関係課長等会議	岡山市
28日	三豊地区土地改良研修会並びに土地改良相談	観音寺市
9月3日	香川県集落営農・農地活用推進プロジェクトチーム幹事会（第3回）	高松市
3日 ～5日	平成26年度実践技術研修（品質向上コース）	岡山市

